

2022年度役員候補の

プロフィール紹介

中央執行委員長候補

秋月 有紀
(人発分会)

2007年4月に人間発達科学部に着任されてから、家庭科住居学を担当されています。

また、建築光環境工学を研究基盤として、避難行動分析・病態と皮膚色変動・夜間景観照明などに取組まれています。

ご出身の関西では、一般企業や非常勤研究員も経験されました。

今回は役員二年目かつ委員長ということで、本学の労働環境の改善に向けてより一層、お力を発揮していただけるものと思います。

副委員長候補

大野 圭介
(人文・理分会)

専門は、中国文学それも紀元前から3世紀くらいまでの古典の詩歌を研究しておられます。

口数が少ないので皆さん驚かれるのですが、生粋の大阪人です。

組合では中執の委員長をはじめ、書記次長や分会副委員長を経験されていて、寡黙ですがとても頼りになる方です。

副委員長候補

藤田 公仁子
(本部分会)

自己紹介：地域連携推進機構・生涯学習部門の専任教員です。専門は社会教育・生涯学習で、大学開放プログラム開発、現代の食生活・食文化と規定している社会的諸条件、博物館教育の学習プログラム等について研究しています。学芸員の資格を持ち、学芸員養成も協力しています。この間、組合活動でも中執のメンバーとして頑張っています。

書記長候補

入江 幸二
(人文・理分会)

自己紹介：人文学部歴史文化コースに所属しています。専門は近世スウェーデン史で、いわゆる絶対王政時代の政治や軍事などについて研究しています。

富山大学アーカイブ室の副室長として、富山大学のコーディネーターや富山大学展も担当しています。

書記次長候補

南 祐三
(人文・理分会)

自己紹介：所属は人文学部歴史文化コース(西洋史)で、フランス近現代史が専門です。ものごとをより良くしていくためには、「未来の他者」＝「いつかの自分」を想定した継続的な活動が大切であると信じています。役員として少しでも貢献できればと思います。

執行委員候補

唐原 一郎
(人文・理分会)

自己紹介：理学部生物学科で植物の形態学・生理学の教育研究を行っています。皆さんが働きやすい職場になることを望んでいます。



執行委員候補

島田 互
(人文・理分会)

自己紹介：理学部で雪氷学を担当しています。「雪印マークのような樹枝状結晶の形がどのように決まるか」や「積もった雪結晶がどのように変化するか」といった結晶成長を専門としています。

2020年3月より五福地区の労働者課半数代表を務めています。

投票期間

6月22日(水)～

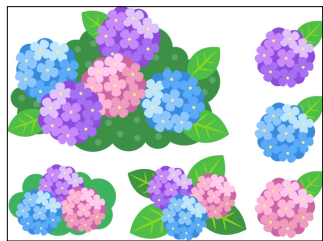
6月28日(火)まで

執行委員候補

武田 昭文
(人文・理分会)

19-20世紀のロシア文学を、詩や小説にあらわれた文化的な伝統意識の在り方やその変化という観点から研究しておられます。

穏やかに、でも、法人に対してはきっぱりと私たちの声を届けてくれると思います。



執行委員候補

和田 充紀 (人発分会)

特別支援教育がご専門です。研究者としての専門的な知見はもとより、学校現場でのご経験も豊富です。

組合が、弱者に寄り添った存在としてあるべきものならば、障害者という社会的に弱い立場の方々に日々、向き合われてきたことで培われたお力を、中執役員のお役目においても活かしてご活躍いただけるものと思います。

会計監査候補

上保 敏
(人文・理分会)

ご専門は朝鮮語で、その歴史的な変遷について研究をされております。

組合では以前にも中執で執行委員を務めておられ、今回もその経験を生かして、富山大学のあり方について意見をいただけることを期待します。

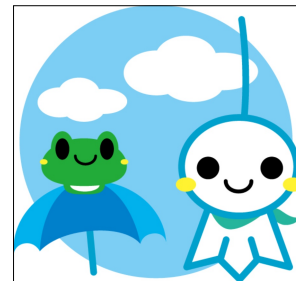
会計監査候補

榎本 勝成
(人文・理分会)

自己紹介：理学部物理学科で、学生実験や電磁気学を担当しています。

専門は原子分子物理学で、主にレーザーを使った分子分光を行っています。

過去2年間、書記次長を務めてきました。



2022年7月28日 (木) の予定

18:15~

富山大学教職員組合

第73回定期大会

オンラインとなります

